

報道発表

令和元年11月6日

一般社団法人i-RooBO Network Forum
株式会社ロボリューション**自律走行ロボットと自動追従モビリティを組み合わせた、
新しいコンセプトの移動ソリューションを発表。
11月13日(水)にプレス向けに製品発表デモイベントを開催します。**

一般社団法人i-RooBO Network Forum（大阪市住之江区・会長：坂本俊雄）の会員企業である大阪のロボットベンチャー企業 株式会社ロボリューション（大阪府高石市・代表取締役：小西康晴）は、「ROBOLUTION」シリーズとして開発している自律走行誘導ロボット と 自動追従モビリティ2機種を組み合わせた移動ソリューションビジネスをスタートします。それにあわせて11月13日（水）に製品発表デモイベント（P5参照）を実施しますのでご案内します。

概要



ROBOLUTIONは、自律走行と自動追従機能を組み合わせた移動ソリューションの総称で、自律走行誘導ロボットと荷物運搬型モビリティ、人搭乗型モビリティの3機種から構成。使用シーンや用途に合わせて、ロボットとモビリティを複数台連結した自動運搬システムを可能にするなど、新しいコンセプトの移動システムとして開発しました。

少子高齢化などの人手不足を背景に、空港や商業施設など大型の施設では、自動化が大きなテーマになっています。様々な企業が開発に取り組んでいますが、実際に導入された機器はまだ少なく、広く普及するには至っていないのが現状です。

そうした社会課題を背景に開発されたのが本製品であり、2025年の大阪万博での運用を見据えて、空港やショッピングモールなど広大な室内空間での実地検証を進めていき、各空間でのモビリティの最適配置なども含めた提案をするべく、ソリューションビジネスを構築してまいります。

製品の特徴

■ ROBOLUTION 01 (自動追従モビリティ：人搭乗タイプ)



人などの対象物に自動追従して移動できるモビリティ。ボタンひとつで「操縦モード」に切替り、人が操縦することも可能。

■ ROBOLUTION 02 (自動追従モビリティ：荷物運搬タイプ)



荷物運搬用に開発されたモデルで、人搭乗タイプと同じくボタンひとつで「追従モード」と「操縦モード」を切替え可能。

■ ROBOLUTION 03 (自律走行誘導ロボット)



タッチパネル上のボタンで行き先を指定。登録された地図を基に、自律移動で走行。後部に01、02を連結することで、自動で人・モノの移動を実現します。

ソリューションの特徴

使用シーンや用途に合わせて、ロボット&モビリティを複数台連結した自動運搬システムを可能にします。例えば、先頭に、地図を記憶し、空間をリアルタイムで認識しながら自律走行が可能な「ROBOLUTION 03」を配置し、その後部に自動追従モビリティ2機種を複数台連結することで、人やモノを用途に合わせて、一度に自動運搬することが可能です。連結時は、ボタン1つを押すだけで追従モードに入る簡単操作を実現しています。

追従ソリューション例**■ 空港**

教育を受けた操縦者が、安全を確認しながら先頭のモビリティを操縦。その後ろに、ペア旅行者とふたりのスーツケースを台車に搭載し連結。自動追従にて目的地へ移動。

**■ ショッピングモール**

各ショップへ荷物搬送。多くの荷物をまとめて、目的地まで自動運搬。

**■ 展示会場**

搭乗客は案内音声を聞きながら、ロボットが会場を自動走行し誘導・案内。

**■ 空港・ショッピングモール**

目的地で、荷下ろしする必要がある場合は、人が先頭を歩いて安全確認しながら運搬。



機能価値と感性価値の高度化を実現

本ソリューションは、ロボット関連企業だけでなく、声優やサウンドクリエイター、プロダクトデザイナーなど、各分野の第一線で活躍している方々が結集して開発しました。各ジャンルの様々なノウハウを組み合わせることで、機能価値と感性価値の高度化を実現しています。

プロジェクトメンバーについては、参考資料（P7）参照

今後の展望

空港やショッピングモールなど、横方向への長距離移動がある屋内空間をメインターゲットとし、人・モノの自律移動ソリューションの提供、及び、デジタルサイネージ等の情報端末とも連動し、新たなサービスモデルを創出してまいります。

本ソリューションをさらに充実させるべく、新たなロボット機器の開発にも着手しており、ROBOLUTION 04、ROBOLUTION 05の開発も進行中です。



写真1 空港での運用イメージ



写真2 ショッピングモールでの運用イメージ

製品発表デモイベント開催概要

発表に合わせて、プレス向けに移動ソリューションの製品発表デモイベントを開催致します。当日は、製品が実際にデモ走行を行うほか、代表取締役・小西より提案するソリューションの詳細もご説明します。

ご参加を希望される方は、11月12日（火）15時までに下記のメール宛にてお申込みください。個別取材や個別撮影も可能ですので、ぜひ、ご参加いただけますと幸いです。

【日時】2019年11月13日（水）10:00～11:30

【場所】大阪南港ATC 大阪デザイン振興プラザ デザインギャラリー
(大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルITM棟10階)

【申込】info@iroobo.jp

本件に関するお問合せ

- ・一般社団法人i-RooBO Network Forum
- ・担当 松出・手嶋
- ・TEL. 06-6606-8335 Mail. info@iroobo.jp

※同時配信先：大阪科学・大学記者クラブ

参考 その1

株式会社ロボリューションについて

大手企業のサービスロボット開発・導入プロデュースをメイン事業としています。

- ◆大和ハウス工業株式会社 住宅床下点検ロボット
- ◆株式会社村田製作所 自律走行一輪車ロボット「ムラタセイコちゃん®」
- ◆ピップ株式会社 高齢者向けメンタルケアロボット「うなずきかぼちゃん」
など開発・実用化の実績多数。



株式会社ロボリューション
代表取締役 小西康晴

- ・所在地：
【本社】大阪府高石市高砂3丁目24番地 生野金属株式会社内
- ・代表取締役：小西 康晴
- ・<http://robolution.jp/> <http://www.robot-revolution.com/>

一般社団法人i-RooBO Network Forumについて

ロボット事業の開発を目的とした企業ネットワーク。ロボット開発やロボットビジネスに携わっている企業などが会員として登録。IoT分野におけるロボットの試作開発、実証実験、社会実装までを実施するほか、子ども向けのテクノロジー体験施設「Robo&Peace」を運営しています。

- ・所在地：大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル 3階D-1 Robo&Peace内
- ・会長：坂本 俊雄
- ・<http://iroobo.jp>



参考 その2

プロジェクトメンバー紹介



ロボリューション 小西がプロデュースを担当し、ロボット関連企業2社と異ジャンルの6名と共に、機能価値と感性価値の高い ロボット&モビリティ ソリューション を追求しています。



Doog

- 自動追従モビリティ技術
株式会社Doog
代表取締役 大島 章
<http://www.doog-inc.com/>



X-mov Japan

- 自律走行ロボット制御ソフト制作
X-mov Japan株式会社
代表取締役 長安 成暉
<https://x-mov.jp/index.html>



neilo

- BGM・SEサウンド制作
ネイロ株式会社
代表取締役 平井武史
<http://neilo.co.jp/>



■ 声優・ナレーション
飯田 里穂 (りっぴー)

<https://iida-riho.com/>



Ball design.

- プロダクトデザイン
Ball design.
代表 児玉 光弘



Techno Support Design
テクノサポートデザイン

- WEB・CGアニメーション制作
株式会社テクノサポートデザイン
代表取締役 橋本 治之
<http://www.t-s-d.jp/>



ヒカ

- 造形・美術
造形工房ヒムカ
代表 上野 信行



シークウッド

- 空間デザイン・制作
(株)シークウッドコーポレーション
チーフアーキテクト
高木 舞人